

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Cコート	第4試合 13:30~													
<チームA> 正智深谷 埼玉 3位		62 { <table border="0"> <tr><td>13</td><td>1Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>22</td><td>2Q</td><td>22</td></tr> <tr><td>12</td><td>3Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>15</td><td>4Q</td><td>9</td></tr> </table> } 77		13	1Q	20	22	2Q	22	12	3Q	26	15	4Q	9	<チームB> 帝京 東京 5位	
13	1Q	20															
22	2Q	22															
12	3Q	26															
15	4Q	9															

【Bブロック】

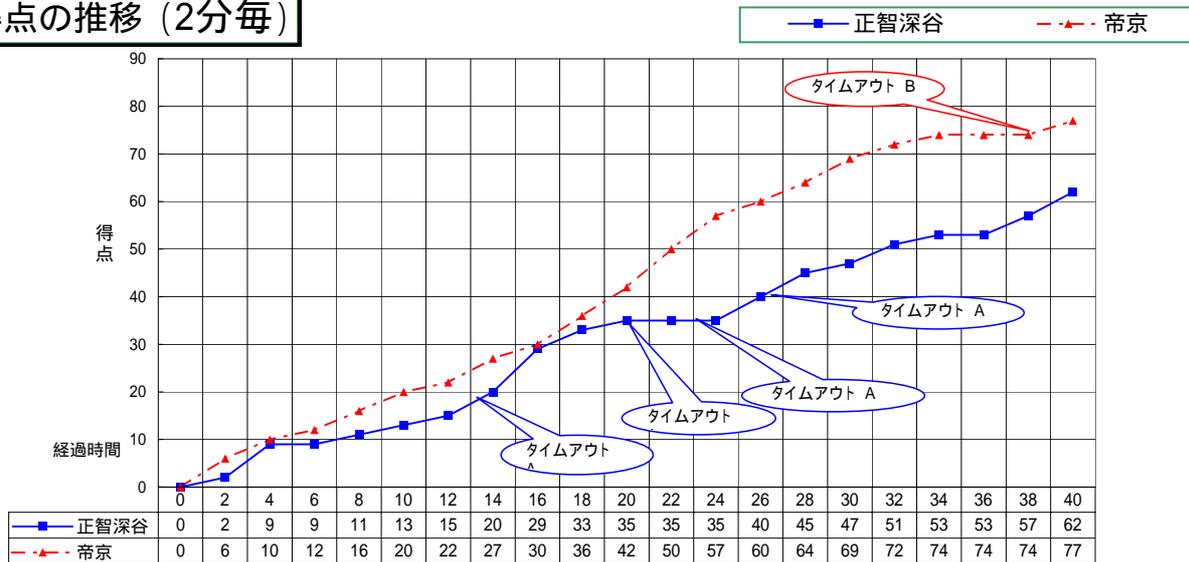
主審：清水 幹治(神奈川) 副審：川島 博之(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	森田 泰広	4		2		4
	5	福井 圭人					
	6	大久保 裕平					1
	7	大久保 亮	25	5	5		
	8	野口 直人	8		3	2	1
	9	西村 直久					1
	10	橋本 明昇	15		7	1	1
	11	戸ヶ崎 祥一	10		5		4
	12	小野寺 翔輔					2
	13	石川 拓享					
	14	竹越 基					
	15	伊藤 駿					
	16	小森 裕輔					
	17	田中 健太郎					
	18	伊藤 勇太					
コーチ		成田 靖					
合計			62	5	22	3	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	越後谷 政幸	7		2	3	3
	5	増子 匠	30	3	7	7	1
	6	古内 駿太郎	2		1		3
	7	尾崎 慶多	2		1		
	8	伊藤 余	2		1		
	9	左館 貴志					2
	10	東海林 亮太					
	11	保谷 竜太	2		1		1
	12	平澤 耕史					
	13	上村 健太					
	14	山田 啓典	22		11		1
	15	鈴木 正雄	10		5		1
	16	鈴木 堅士郎					
	17	佐藤 康輝					
	18	谷合 真樹					
コーチ		灘部 裕樹					
合計			77	3	29	10	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦評

記入者：佐藤 純

第1P,両チームともにハーフコートマンツーマンでゲームスタート。正智深谷(以下 正智)は 橋本のジャンプシュート, 大久保(亮)の3pシュートとアウトサイド中心のオフェンスを展開するのに対し,帝京は 山田, 鈴木(正)のインサイドで勝負する展開。中から確実に得点を重ねた帝京が20-13と7点リードで第1P終了。

第2P,帝京はディフェンスのプレッシャーを強める。増子のスティールからの速攻が決まり,12点差となったところで正智はたまたまタイムアウト。ここから正智の反撃が始まる。橋本のドライブインでバスケットカウント,フリースローを決めると, 大久保(亮)の3連続3pシュートで1点差まで詰め寄る。帝京は 山田をコートに戻し,徹底的にインサイドを攻めると,正智はこれを止められず,35-42帝京リードで前半終了。

第3P,帝京は 山田のインサイドで得点すると, 増子のドライブイン, 保谷のスティールからの速攻, 鈴木(正)のインサイドと一気に流れを引き寄せ,開始3分で19点差をつける。正智はタイムアウトを取ってディフェンスを1-3-1ゾーンに変え,流れを変えようとするが,シュートが単発となり,リズムが掴めない。帝京は 増子のドライブインが決まり,21点差をつけて,第3Pを終える。

第4Pに入っても帝京の流れは変わらない。増子, 山田を中心に落ち着いたゲーム運びで試合は進む。正智は最後まで粘りを見せたが,追いつくには至らず,62-77で帝京が勝利した。